

## 第3回 教育委員会 会議録

- 1 開催日時 令和6年3月19日(火) 午前9時55分
- 2 開催場所 大町市役所 東中会議室
- 3 出席委員 教 育 長 中 村 一 郎  
同 職 務 代 理 者 中 山 晴 隆  
委 員 下 川 清 志  
委 員 森 し の ぶ  
委 員 北 澤 明 美
- 4 説明のため出席した者  
教 育 次 長 太 田 三 博  
学 校 教 育 課 長 平 林 政 規  
生 涯 学 習 課 長 藤 卷 孝 之  
ス ポ ー ツ 課 長 松 下 明 夫  
山 岳 博 物 館 館 長 鈴 木 啓 助  
国 民 ス ポ ー ツ 大 会 準 備 室 長 牛 越 秀 仁  
学 校 教 育 指 導 主 事 吉 澤 清  
学 校 教 育 指 導 主 事 山 岸 澄 雄
- 5 事務局 学校教育課庶務係長 平 林 晃
- 6 傍聴者 一 名

**中村教育長**：これより第3回教育委員会を始めたいと思います。よろしくお願いいたします。議事録の承認の方、よろしくお願いいたします。

それでははじめに教育長の報告をいたします。

**中村教育長**：教育長報告 資料により説明

**中村教育長**：以上になりますがご質問がありましたらお願いいたします。

では続きまして報告事項の方に移りたいと思います。

**吉澤学校教育指導主事**：令和5年度要判断児童・生徒の教育支援について 資料により説明

**中村教育長**：毎年、就学相談にあがってくるケースは、ほぼ50名前後です。今年度は、来年小学校1年生にあがる半数のお子さんは、相談にあがってきているという現状であります。そのような面で、今の小学校、中学校においては特別支援教育という、とても難しい運営が迫られております。インクルーシブ教育と言われて久しいわけですが、よりこのインクルーシブ教育というのを推進していかないと、とても今の学校ではすべてを受け入れていくというのは困難な時が来てしまうのではないかなと思います。そんな面で市の教育支援委員会の専門委員会については、様々な改革をして、専門員の先生方の負担を減らすなどの改革をしていく方法も模索はしていますが、抜本的に見直さなければならぬ時期が迫っているというようには感じています。

この内容についてご質問ご意見等ありましたらよろしくお願いいたします。

**中山教育長職務代理**：どんどん増えているというような状況で、もう少し何らかの手段なり方法で、3、4年生くらいまでの間にいろんな訓練等を通して、普通学級に在籍できるような指導方法というか指導理論のようなものがないかなと思ったりしています。

これまでも何人かは、保護者が情緒的に不安定な中で、お子さんを育てられていたとか、そういう家庭環境もあつたりと、いろいろあるので、家庭に任せるわけにもなかなかいかないので、学校なり市の施設のようなところで継続的に訓練等をして、通常学級に戻っていくような方法とか、そういったことをしていかないと、特別支援学級の在籍者がどんどん増えていってしまうのではないかという心配はしています。

**中村教育長**：市の方ではキッズウィルがその大きな受け入れの場になって、子どもたちのトレーニングとかを継続的に行っている状況もあるのですが、なかなか1つの施設だけでそれをまかなうというのはとても難しい部分ではあるかと思います。

**吉澤学校教育指導主事**：資料、補足説明

**下川教育委員**：学習支援センターでは昨年度末ぐらいから、今までと違った取組を幾つかしていると聞いたが、その辺の効果はでてきているのですか。

**中村教育長**：基本的には、不登校のお子さんたちの中には発達障害等を抱えているお子さんもいると思います。

主にお子さんは、外との関わりを苦手とすると思うのですが、今、いろいろな人と関わるようなイベントを、月に何回か開催し、子供たちもそこに出ることで、今までとはちょっと違った人と関わることをそれ程、拒否しないとといった効果は、この1年間で出てきたのではないかと捉えています。

それらの運営面やサポート体制などをどういうふうに整えるかというところが、また課題になると思います。また、建物も古くなってきているのもあるのですが、ただ、ああいう場所だから、子供たちにとって、とても安心でき、学校より家庭的な雰囲気の良いところがある、そういうお子さんもいらっしゃるようです。

**中村教育長**：他にはよろしいでしょうか。

では、お認めいただけますでしょうか。

〈全員承認〉

**中村教育長**：ありがとうございます。次に、学校における事件・事故等についてお願いいたします。

**平林学校教育課長**：学校における事件・事故等について報告 資料により説明

〈内容非公開〉

**中村教育長**：では、続きまして議事に入りたいと思います。最初に議案第5号、大町市教育委員会公告式規則の一部改正する規則規定についてお願いします。

**平林庶務係長**：資料により説明

**中村教育長**：この件につきまして、質問等ありますか。

ご承認いただけますでしょうか。

〈意見なし、承認〉

中村教育長：では続きまして、議案第6号で、市立大町山岳博物館規則の一部を改正する規則制定について、お願いします。

太田教育次長：資料により説明

中村教育長：山岳博物館の組織体制について見直しを図り、このように規則改正をしたいということでご提案したのですが、ご意見等ありますか。

〈意見なし、承認〉

中村教育長：続きまして、議案第7号、大町市教育委員会事務専決代決規定の一部を改正する規定制定について、お願いいたします。

平林庶務係長：資料により説明

中村教育長：先生方の職務専念義務免除の関係ですけど、今までは市教委の方に全部上げてという形だったのですが、県の先生方については校長の方で承認ということで、事務の簡素化に繋がると思います。

中山教育長職務代理：大町市以外もそういう形だったのですか。

平林庶務係長：大北管内の教育委員会は、すべて教育委員会の方に回すような形になっていました。

大北の事務研の中で話し合われたもので、白馬村に関しましては、本年度から、こういった形をとっております。池田、松川は6年度から実施するというので改正すると聞いております。

中村教育長：よろしいでしょうか

〈承認〉

中村教育長：続きまして、議案第8号、大町市スポーツ振興事業補助金交付要綱の全部を改正する要綱制定について、お願いします。

松下スポーツ課長：資料により説明

中村教育長：何かご意見等ありましたら、お願いいたします。

中山教育長職務代理：2つ質問をさせてください。

1つは地域のスポーツのために指導者を養成することが非常に大事だと思うのですが、例えば高校生が将来的に地域に残って指導者をやりたいなと高校在学中に、指導者研修とか講習を受けて、資格を取りたいということがあったときには、指導者資格取得に該当するのですか。

松下スポーツ課長：市内に在住していれば該当となります。

中山教育長職務代理：わかりました。

もう1点は、スイミングやジムネットとかありますが、そういう所から申請するとなると競技力向上というのは、該当になりますか。

松下スポーツ課長：スイミング、ジムネット等につきましては、認定スポーツクラブとして支給しております。それに伴いまして、競技力向上事業にも該当しますので、そちらの方へも補助の対象となっています。

中山教育長職務代理：非常にわかりやすくなっていいかなと、思います。

中村教育長：よろしいでしょうか。

〈承認〉

中村教育長：次の議案第9号、大町市コミュニティ振興対策事業補助金交付要綱の一部を改正する要綱制定について、ご提案をお願いします。

藤巻生涯学習課長：資料により説明

中村教育長：こちらの方も今までの要綱を整理した形ですが、ご意見等ありますでしょうか。

下川教育委員：内容については良いと思いますが、自治会等のこういった活動に具体的にこういう内容で支援していますということは、市民とか自治会の役員等には示しているのでしょうか。

藤巻生涯学習課長：連合自治会の会議等では、案内はしております。

下川教育委員：金額はいくらまでですか。

藤巻生涯学習課長：公民館の新築で全部建て替えるということであれば、限度額 800 万ですが、増築とか改築、部分的に塗装のやり直しとかは限度額 300 万で、3分の1以内となります。

下川教育委員：わかりました。ありがとうございます。

中村教育長：議案第9号についてはよろしいでしょうか。

〈承認〉

中村教育長：では次、議案第10号、公民館長の任命について、説明をお願いします。

藤巻生涯学習課長：資料により説明

中村教育長：八坂公民館、美麻公民館の館長さんについてですが、よろしいでしょうか。

〈承認〉

中村教育長：ありがとうございます。

最後に議案第11号で、令和6年4月1日付教育委員会職員の人事異動について、お願いします。

太田次長：資料により説明

中村教育長：令和6年4月1日の教育委員会の中の人事異動でありました。

よろしく願いいたします。

では、これで議事の方は終わりになります。ありがとうございました。

それでは、協議事項です。はじめに、大町市明るい選挙推進協議会委員の委嘱について言をお願いします。

**平林庶務係長**：資料により説明

〈全員、承認〉

**中村教育長**：「ひとが輝くまちづくり事業審査会」審査員の推薦について

**平林庶務係長**：資料により説明

〈前回に引き続き、森委員で全員承認〉

**中村教育長**：それでは森委員さんということで、よろしくをお願いします。

それでは、前回の教育委員会において、中山委員の方から村瀬先生が各学校においてご指導いただくようになったその経緯について、教えて欲しいということでしたが、山岸先生の方から資料の方を準備していただいておりますので、説明お願いいたします。

**山岸学校教育指導主事**：資料により説明

**中村教育長**：村瀬先生は、東京大学において佐藤学先生のもとで研究されていますが、佐藤学先生は以前、夏期大学の講師としても、2年ほど来ていただきました。

その折、理事長より、教育学の方で、きちんと自分の理論を持っており、そしてその話ができるのは、この佐藤学先生が日本では唯一だろうというようなお話もありました。

その佐藤学先生が協同の学びを提唱し、県内でもこれを行っているところがあります。

そこで一緒に村瀬先生も研究され、私もとても客観的であり押し付けではなく、学校の様子・実態を見て、ご指導もしていただける、そういう人間的な幅がある方であると思っています。

現在は、全国で様々なところから呼ばれ、日本中飛び回っている先生で、大町市については、とても注目してくださっていて、助けていただいている状況です。しばらくは村瀬先生のご指導をいただきながら、大町市の学校改革を進めてもらいたいと考えております。

**中山教育長職務代理**：詳細な資料ありがとうございました。

結局、令和2年から令和5年までの間に、美麻での実績を評価して、全域で村瀬先生にお越しいたくというようになっていったということですね。

佐藤学先生は協同の学びについて、若干学校でやっている、私のイメージの協働と佐藤学先生の協同の学びと、微妙にちょっとずれているところもあるかなとは思いますが、流れとしてはいろいろ勉強させてもらえばいいかなと思います。

**中村教育長**：ありがとうございました。

最後に日程の方をお願いします。

**平林庶務係長**：当面する日程及び今後の教育委員会等の日程について、資料により説明

**北澤教育委員**：美麻小中、八坂小中の進級式というのは、学校ごとにあるようになっているのでしょうか。

**中村教育長**：聞いていないので、確認してみます。

どうもありがとうございました。

以上をもちまして、第3回教育委員会の方終わりたいと思います。

《午前11時45分 終了》